

2023年度 自己評価及び学校関係者評価

学校法人 北海道ルーテル学園
認定こども園札幌ルーテル幼稚園

1.本園の教育目標

建学の精神にのっとり、すべての保育の根底に聖書の教えを踏まえ、乳幼児期の経験が人格形成の基礎を培う大切な時期と考えて、主体的な活動としての遊びを確保し、遊びを通しての豊かな生活体験の中から、他者と共に生きる喜びを感じることを大切にしたい保育を目指している。

2.本年度に定めた重点的に取り組む目標

- ・新しい園舎になり、遊びの充実を図るために、空間の使い方を工夫し、又、遊具などを整えていく。
- ・安全面に配慮し、ケガや事故のないように教師間の連携を密にし、安心して園生活を過ごすことが出来るように努める
- ・子どもも保育者も共に喜んで歩み続けるためにも、子どもたちひとり一人の行動をしっかり観察し、子どもたちにとって今、必要な援助をする関わり方を大切にする保育を心がける。

3.評価項目の達成及び取組状況・自己評価

評価項目	取り組み内容	自己評価	評価
教育課程	・認定こども園の状況を踏まえた、教育目標・重点目標の設定 ・教職員間の子どもに対するの共通理解	新幼稚園教育要領の理解を全教職員で、積極的に推進し、それを現実の保育に添わせるように、具体的な場面について話し合いを行っていった。	A
研修	・教育の質の向上のために、園外研修、園内研修に積極的に参加する	園外で行われている研修会、又、園内においても、乳幼児の発達の姿をとらえるための研修に積極的に参加するとともに、日々の子どもの姿について話し合う機会を週案や月案の機会をもつようにし、自由に意見を述べる環境をつくっていった。 オンライン参加の研修もあり、学びの時間が持てた。	A

評価項目	取り組み内容	自己評価	評価
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備の安全、維持管理のための整備 ・遊具、用具、図書の整備 	定期的に遊具や設備の点検をしていった。	A
食育	<ul style="list-style-type: none"> ・食物の観察と収穫(畑の野菜) ・身体にやさしい食材の使用 	園で畑を作り、とうきび、えだまめ、ピーマン、ブロッコリー、キャベツ、きゅうりを育て、観察、収穫し、食していった。 身体にやさしい食材で作る給食の提供を心がけている。 調理員さんと給食についての話し合いの時間をもった。	A
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の理解を深める ・関連機関との連携 ・家庭との連携 	特別支援に関する研修会に参加し、質の向上をはかった。 関係機関や家庭との話し合いの場をもうけ、共通理解に努めた。	A
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業(たんぼぼグループの実施) ・子育て相談の実施 ・園庭解放 	親子で一緒に遊ぶことを大切にし、その中で子育ての悩み相談などを受けた。	A
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・学校防災計画などの実施 ・安全点検 ・交通安全指導の実施 	ほぼ毎月の避難訓練を実施した。 交通安全教室を実施し指導員に来てもらい学びの時間を持った。 警備会社による防犯セキュリティシステムを導入している。	A
健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりの掲示 ・健康診断の実施 ・日常の健康観察 	月に一度、保健師が保健だよりを作成し、玄関に掲示した。 学校薬剤師が定期的な検査を行い、園内の衛生管理を行った。	A
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりの発行 ・行事における保護者参加 	学期毎、年 3 回の個人懇談や保育参観日をもうけ、子どもの成長を共有していった。 登・降園時に、子どもの様子を伝えていくよう努めた。	A

4.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、全教職員が共通に理解し、それぞれ自己評価し、取組状況を話し合うことを通して、園としての方針を明確にすることができ、それを実践する礎とすることができた。

5.今後の取り組むべき課題

- ・認定こども園として新しくスタートし、0歳から5歳までの子どもたちと一緒に生活することによって、月齢・年齢によつての成長の違いと、ひとり一人の子どもたちの成長の違いを感じることができるが、発達段階の相違とひとくりにするのではなく、ひとり一人の子どものありのままを受けとめて共に過ごすことを大切にしていきたい。
- ・遊びの充実を図るために、今、子どもたちにとって必要なものや空間を確保していくと共に、子どもたちの今の姿を大切にしていくことを教職員の共通理解としていくための時間を作っていきたい。
- ・子どもの数、又、教職員の数が増えたことによつて、さらに他者と共にいきることの喜びを実感できる人間関係を大切にしていきたい。
- ・ひとり一人が神さまによつて生かされているという喜びを実感していくためにも、礼拝の時間を大切にしていく。

6.財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

7.学校関係者の評価

- ・認定こども園の移行したことで、0歳から就学前までの子どもの保育・教育を行うことで安全面でも配慮しなければならないことも増えたと思いますが、教職員が一丸となって新しい幼稚園を形成していった。
- ・神さまの守りの中で、大きな事故やケガがなく、一年を過ごせたことを感謝します。
- ・今後も札幌ルーテル幼稚園らしい温かい保育が展開されることを期待しています。